

令和7年度 海外インターンシップ実施報告

福井工業大学では、グローバル化・国際化に対応した教育、また海外で活躍できる人材育成の一環として海外インターンシップを実施しております。令和7年度の取組について下記のとおりご報告いたします。

- 【実施国】 タイ王国、ベトナム社会主義共和国
- 【研修期間】 令和7年8月11日（月）～8月29日（金）
- 【対象】 全学部全学科3年生
- 【参加人数】 26名
- 【協力企業様】 タイ：(株)小松製作所、(株)三和商会、(株)ソディック、
(株)タケダレース、東洋エアゾール工業(株)、
ニデックテクノモータ(株)、(株)日本エー・エム・シー、
福井鋳螺(株)、フクビ化学工業(株)、(株)UACJ、
シーナカリンウィロート大学附属プラサーンミット高等学校
ベトナム：フクビ化学工業(株)、前田工織(株) (五十音順)

【事前研修】

事前講義（全11回実施）

- ① 海外インターンシップ参加について
- ② 自己分析について
- ③ 履歴書・参加目的・目標設定について
- ④ ビジネスマナーについて
- ⑤ 社会人基礎力について
- ⑥ 先輩の体験談
- ⑦ タイ・ベトナムについて
- ⑧ 海外生活における安全対策について（外務省職員より）
- ⑨ 渡航についての各種説明
- ⑩ 学園理事長激励、渡航前の最終確認
- ⑪ 学長激励、研修発表会について

【現地研修】

- ・ 企業別研修
会社説明、工場見学、安全教育、設計・製造工程研修、実務工事、課題解決 等
- ・ 研修成果報告会
企業別発表および質疑応答

【事後研修】

事後講義（1回）

- ・研修の振り返り

学内研修成果報告会

- ・企業別発表および質疑応答（大学教員による最終評価）

【参加者の声】

- ・初めて海外へ行く不安を抱えて参加したが、2週間はあっという間で、とても充実したインターンシップになった。現地の人との交流がうまくいかなかったり、意思疎通が思うようにいかなかったりする場面もあったが、折れるのではなく、最後までやり切ろうと行動し続けたことで、多くの学びを得ることができた。自分のコミュニケーション能力のレベルも確認でき、人と深く関わる仕事につきたいという気持ちが、以前より強固になった。
- ・異なる文化や働き方に触れたことで、日本だけでなく世界に視野を広げることの重要性を強く実感した。日本の基準が必ずしも正しいとは限らず、海外の製造現場で初めてそれを痛感した。言語の壁に直面した際には、身振り手振りやシンプルな英語でコミュニケーションを取り、課題を乗り越えた。現地スタッフと協働する中で、多角的な視点からアプローチすることの大切さを学んだ
- ・自分で設計した図面が実際に設備として製作され、現場で使われる経験をし、図面と現物の差異から改善点を見つけることの大切さを実感した。専門用語が伝わらない場面では図やジェスチャー、平易な英語を使って伝えるなど、異文化の中で柔軟に対応する力を身につけた。これらの経験は、将来のキャリアを具体的に考える大きなきっかけになった。
- ・海外での研修では、自分の基礎知識や意識不足を痛感した。現場での理解や判断に時間がかかったことや、作業でミスをしてしまい冷静に対応できなかったことは、大きな反省点になった。また、図面作成から加工工程まで一連の作業を体験したことで、ものづくりが多くの技術と人の連携によって支えられていることを実感した。研修を通して日本と海外の製造体制の違いにも触れ、グローバルな視点で考える必要性を強く感じた。異なる文化・価値観を持つ人々と協働するために、自分から歩み寄り信頼を築く姿勢の大切さを学んだ。
- ・初めて海外に行く不安が大きかったが、実際に現地に行ってみると、想像以上に充実したインターンシップを経験できた。最初は現場で実物に触れることに緊張もあったが、何事にも疑問を持ち、自分から積極的に行動することの重要性を実感した。また、異なる文化の中で働くことで、「行ってみれば案外なんとかなる」という気づきを得て、海外への抵抗感が大きく減った。

【取組の様子】

■ 事前研修



「ビジネスマナー」



「海外生活における安全対策」

■ 現地研修（企業）



「実務研修」



「研修成果報告（現地）」

■ 事後研修



「研修の振り返り」



「学内研修成果報告会」

【まとめ】

海外インターンシップに参加した26名の学生のうち、約90%が「大変満足・満足」と回答し、95%が「下級生に勧めたい」と肯定的な回答を示しました。自由記述では、言語や文化の違いに戸惑いながらも、主体的に行動し、課題を乗り越えた経験が成長につながったとの声が多く寄せられました。また、企業での実習を通して大学での学びが社会とつながり、仕事への理解やキャリア意識の向上を実感した学生が多数を占めました。さらに、「視野が広がった」「価値観が変わった」といった記述も多く、海外で働くことへの抵抗が減少するなど、学生の行動や考え方が前向きに変化したことがうかがえます。

【お礼】

本プログラムの実施にあたり、受入企業の皆様には、業務時間外や休日を含めて学生に多大なご配慮を賜りました。現地での丁寧なご指導や温かいサポートにより、学生は安心して研修に臨み、多くの学びと成長を得ることができました。改めて心より感謝申し上げます。今後も皆様との連携を深めつつ、本学の国際教育を一層の充実に努めてまいります。

以上